

# 未来に続く魅力あるまちづくりの推進について

【国土交通省】

## 長野県の状況

### ●未来に続く魅力あるまちづくりの推進

まちづくりを県総合5か年計画のプロジェクトに位置付け、UR都市機構との包括協定締結や、公民学が連携した「信州地域デザインセンター（仮称）」を設置し、県が積極的に関与して市町村を支援し、魅力あるまちづくりを推進する。

#### 取組

- 交通の円滑化、安全な通学路の確保が急務であり、県内28箇所**都市計画道路の整備を重点的に推進**
- 個性を活かした魅力向上とにぎわいのある公園づくりが求められており、県及び県内14市町村において**都市公園の整備を推進**
- 狭あい道路の解消**による安全な住宅市街地の形成を推進
- 空き家対策市町村連絡会・地域連絡会**を設置し、市町村を支援。
- 住宅・建築物のアスベスト対策を推進するため、**吹付けアスベスト含有調査・除去等に対して支援を実施**
- 第36回全国都市緑化信州フェア**（H31.4.25～6.16）について、平成29年6月に実行委員会を設立し、**基盤整備などを実施中**



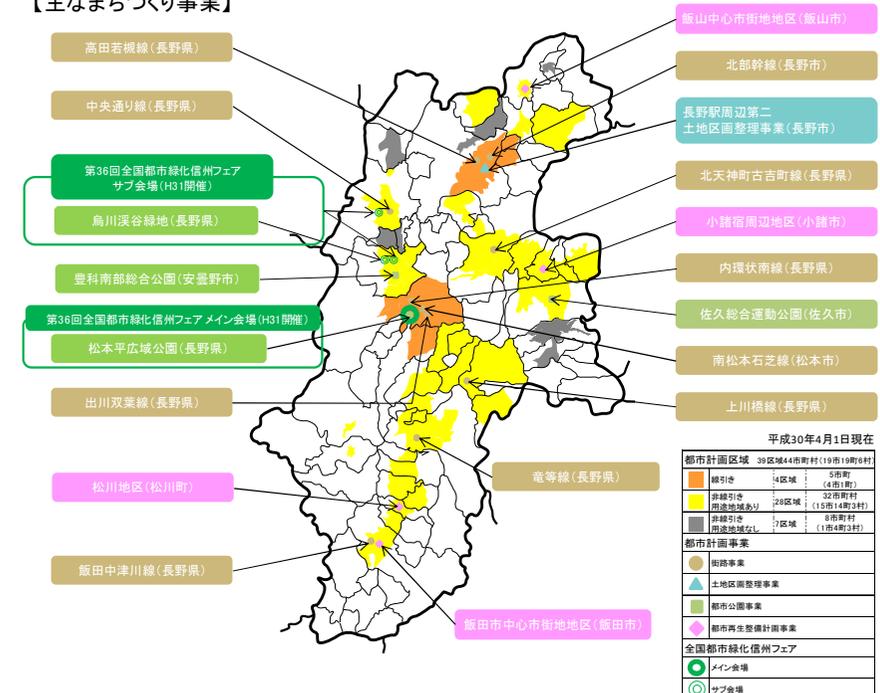
狭あい道路整備等促進事業



- 県内の空き家は年々増加。平成5年からの20年間で約2倍
- 別荘を含む空き家率は、全国で2番目に高い



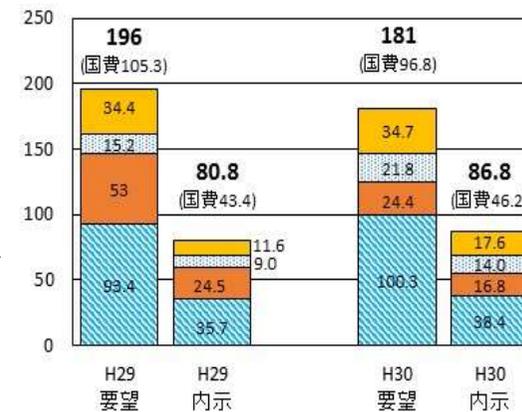
#### 【主なまちづくり事業】



# 課題

- 都市計画道路や都市公園整備、市町村のまちづくりに必要な財源が不足し、供用開始が遅れるなどの支障
- 2027年度開催予定の国民体育大会に向け、都市公園等の運動施設の整備が必要
- 狭あい道路整備等促進事業は平成30年度を期限とされているが、県内には、安全性確保する必要性の高い狭あい道路が数多く存在している
- 空き家の対策に係る国の補助金は、単年度事業費の下限額が国費ベースで1,000万円に設定されており、予算規模が小さい小規模自治体では活用が困難
- アスベスト含有仕上塗材(吹付け工法)は、除去時に吹付アスベストと同等の対策が必要。
- 平成31年に開催する第36回全国都市緑化信州フェアの成功に向けて、メイン会場の修景が必要

(億円) 交付金予算の状況



■(県)街路 ■(市町村)街路 □(県)公園 ■(市町村)公園

【空き家対策総合支援事業】

国補助金下限 1,000万円	市町村一般財源等 1,000万円
-------------------	---------------------

市町村は最低でも年間2,000万円以上の事業を組まなければ当補助金を活用できない  
※H29県内活用1自治体のみ

# 提案・要望

## 1 安全で快適な都市空間の確保のための予算措置

都市計画道路整備及び都市公園施設整備の推進、また市町村が進める都市再生整備計画事業など、まちづくりに必要な予算を確保すること。

## 2 狭あい道路の解消による安全な住宅市街地の形成への支援

狭あい道路の整備に対する支援制度を延長・拡充すること。

## 3 空き家等対策に係る支援策の要件緩和や拡充

空き家等対策に係る支援策は、小規模自治体での活用が可能となるよう、要件緩和や拡充を図ること。

## 4 アスベスト対策に対する補助制度の拡充

アスベスト含有仕上塗材(吹付け工法)を「住宅・建築物アスベスト改修事業」の対象とすること。

## 5 第36回全国都市緑化信州フェアの開催への支援

平成31年の第36回全国都市緑化信州フェアの開催に向け、格段の支援を行うこと。

### <第36回全国都市緑化信州フェア>



メイン会場：松本平広域公園（松本市）